

## 第4回「一日体験ボランティア」報告

平成26年11月28日（金）

### 「デイケアぶどうの樹」にて 聖康会病院・デイケアぶどうの樹の皆さんと一緒におやつづくり

第4回「一日体験ボランティア」は、「聖康会病院・デイケアぶどうの樹」の「おやつ作り」に参加させていただきました。

体験参加者は男性3名、女性5名で、通所者の方もちょうど8名でした。

通所しているのは、精神科医療機関の外来で通院治療を受けている人たちです。

最初に「ぶどうの樹」の山田さんから、「この施設では、普段関わっている職員とは違う人達と関わることで社会性を身に付けていただきたいと考え、ボランティアさんを受け入れています。」などのお話をさせていただきました。

その後3班に分かれて、各自「さつまいものチーズケーキ」作りに取り掛かりました。

「ボランティアは初めてです」という体験参加者も多く少し不安な様子でしたが、おやつ作りという楽しい体験ということで、緊張の中にも笑顔がありました。

女性の参加者は調理に慣れてはいるものの、デイケアの皆さんは何回か練習してきたということで、終始リードしていただきながら作業は進みました。

今回のお菓子は、分量通り混ぜるだけなので、時間もかからず思ったよりも簡単に作れて、張り切って参加した体験者の方には多少物足りなさがあったかも知れません。

最後の焼き上げの作業は、職員の方がまとめてやってくださり、他の方たちはお昼まで時間があるため、そのまま各グループ同士で歓談していただきました。

体験参加者の人数が多かったのが良かったのでしょうか。今回で4回程参加させていただきましたが、通所者の方と体験者の方ほとんど全員が、和気あいあいとそれぞれのグループみんなで楽しく歓談している様子を見るのは初めてだったように思います。

和やかな歓談が続いていましたが、お菓子が焼きあがった頃にはちょうどお昼となり、そのままのグループで昼食を摂りました。

食後の休憩時間には、お菓子作りの時に重宝した、チラシのゴミ入れの作り方を職員の方が教えて下さることになり、歓談していた体験者、通所者の方も輪になって作り方を習いました。作り方は簡単に見えて意外に難しく、皆さんなかなか覚えられず、苦戦しながら何回も挑戦していました。

教えていただいたゴミ入れは丈夫で型が崩れにくいということもあり、各自家に持ち帰って作ってみるとのことです、これも楽しい体験だったようです。

昼食後の休憩はあっという間に終わり、早速焼きあがったお菓子と体験参加者の方からいただいた柿を皆でいただきました。

自分たちが作ったチーズケーキを美味しくいただき満足した後に、山田さんからこのまま「帰りの会」を行いましようというお話が出て、おやつ作りの感想を全員にお話していただきました。

通所者の方からは、ボランティアの皆さんが参加してくれて嬉しいとの感想があり、体験参加者からは、人とのふれあい、心のふれあいの大切さを学ばせていただいたなど、最初は緊張したけれどすごく楽しく、そして有意義に過ごせたという感想があり、皆さんの参加して良かったという思いを感じることができました。

山田さんからは「これを機会に体験参加者の皆さんがまた様々なボランティアに関わっていってくればいいですね」というお話があり、体験参加者も頷いて聞いておりました。食器洗いを手伝った後もしばし歓談となり、3時には解散となりました。

今年度の「一日体験ボランティア」はこれで終了となります。来年度もまた、初めてのボランティアを応援する体験内容を企画していきたいと思います。